



JAMCA ニュース

No.126

2025年7月1日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
 〒160-0015 東京都新宿区大京町 31
 ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
 ☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
 ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

自動車整備士は社会を支えるスペシャリスト

学校法人 古沢学園 都市学園大グループ 専門学校 広島工学院大学校/専門学校 広島自動車大学校 理事長
 全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

古澤 幸治

JAMCA ニュースをご覧の皆様も感じていると思いますが、現在の学生を取り巻く社会情勢について幾つかの観点でお話していきたいと思います。

ご承知の通り、米国による自動車関税、一部企業の業績不振等によって、世の中に自動車業界の先行きに対する不透明感が高まっています。直接的には自動車整備士の必要性に影響は無いと考えていますが、高等学校の先生や保護者は、自動車業界全体と考え、あたかも自動車整備士がリストラ等の対象になるのではないかと大きな誤解をされることが懸念されます。しかし、現在の経済活動や私たちの生活で、自動車は切っても切り離せない存在であることは揺るぎの無い事実です。仮に新車販売が著しく不振だとしても、社会で必要な台数が著しく減少するわけではないため、車齢が伸びることになります。その結果、整備の必要が高くなるだけです。日本において自動車を安全に走らせるためには、国家資格を有している自動車整備士の存在が不可欠です。国家整備士（検査技師）による最終的な判断がなければ、車検を通過することができないのです。つまり、JAMCA が掲げる「自動車整備士は国民の生命と安全を守る」という崇高な公的使命は揺るがないということです。



一方で、現在、日本は、多くの分野で人材不足と言われています。私はこれまで、資格や技術を身につけ、社会に貢献する意識を持った人材を社会は求めていると思ってきました。しかし、過度な人手不足により、多くの企業（分野）では、能力の有無によらず兎にも角にも働き手の争奪戦になっている状況が垣間見えます。それによって、「資格がなくても就職先はある」「次の就職先には困らない」などと錯覚している若者が増えると危惧をしています。それに加え、転職意識のハードルが下がり、納得いかなければ次の職に移ることに躊躇しないという、本来のキャリアアップ型転職ではない安易な風潮も、若者に悪影響を与えていると感じています。それ故、無理に勉強しなくても、無理に資格を持たなくても就職に困らないと勘違いしてしまう学生も少なからず存在しているのではないのでしょうか。私は、今後逆にますます社会は厳しくな

り、努力した者とそうでない者との格差が広がってくると思っています。つまり、人員確保は必要であるが、本当に必要な人材は手放したくなく、そうでない者はいずれ置き換えてしまえばよいというのが企業の本音ではないのでしょうか。我々の学生には、こうした状況に惑わされず、国家資格を取得し社会で貢献して欲しいと切に願っています。

最後に、自動車分野は、自動化、電気化、生成 AI などによって、成熟したと思われた時代から、一気に進化を遂げようとしています。我が国の経済、地域社会の生活を支える自動車のエキスパートである二級自動車整備士、一級自動車整備士の存在がますます重要になってきています。これから我々は、その重要性を社会に伝え、自動車整備を目指す若者の将来を豊かなものとなるよう努め、プライドを持って、国土交通省の唯一無二の教育機関として使命を果たすべきだと考えております。

CONTENTS

- 2面 ママ目線の「自動車整備士」、こどもたちと「自動車整備士」
- 3面 クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
- 4面・5面 Japan Dream!
～夢を叶える留学生が取り組む「在留のルール」～
- 6面・7面 協会トピックス・地区通信
- 8面 私の教材活用・お知らせ・編集後記